

活動名：第 17 回絹の里サッカーフェスティバル U10

日 程：令和 5 年 11 月 18 日（土）・19 日（日）

会 場：川俣町農村広場 U10

参 加：E3 選抜（4 名）・E4（6 名） 計 10 名

帯 同：小松・（設楽・佐藤）コーチ

結 果：U10 の部

予選リーグ

VS 南福島アウルズ 2nd 6：0 ○

VS シャイネン福島 2：9 ●

順位トーナメント

VS アステル FC 4：2 ○

VS 川俣 SSS 1：2 ●

結果 6 位 / 12 チーム中

報告（設楽）

テーマ

相手がボールを持っていたら、その近くの選手がアタックしに行こう！

自分のことだけでなく、仲間を助けるプレーをしよう！

3 年生は助っ人で参加し来年があるため、四年生が上級生としての自覚を持って戦おう！

出来事

今回は 4 年生が 6 名と少ないメンバーであり、試合に出場できないことから、急遽 3 年生選抜として 3 年生の中からリフティング上位者 4 名を選抜し、助っ人的な立場で参加してもらいました。何とか、10 名の参加を受け（試合 8 人制）出場することができました。

さて、初日は小松コーチが主体となって予選リーグ二試合を戦い、4 年生中心のメンバー構成で挑みました。強豪相手に 1 勝 1 敗の結果となり、2 位トーナメントに進みました。二日目はコーチ設楽が主体となって挑みましたが、2 位トーナメントのメンバー構成としては、初日が 3 年生の助っ人的な出場に対して、3 年生も含めたメンバー構成に切り替え、ポジションをある程度、各自が得意とする場所を固定し、勝利を目指しました。私は先日の岩根大会で帯同していたので、個々の個性を理解していたので、同様のポジションを与えて、GK も子ども任せにせず、できる子にお願いしました。

やはり他リーグの 2 位で勝ち上がってきたチームは組織だった戦い方をしてくるため、チーム作りをしていない練習のアーレとしては、個々のプレーでその場をしのぎ、攻めるプレーが中心であるため、その場、その場で子どもたち個々の能力に任せたプレーを繰り返せば、うまくいかない場面や個人のスキルが通用する場面などを経験でき、自分の今のレベルを感じることができる機会だったと思います。

課題

4年生については、高学年になっているので、試合前などではじゃれ合う姿が多く見られ、もう少しサッカーや大会を感じて向き合ってほしいと思いました。また、フィジカルの強さだけで戦う場面が多かったため、自分の基礎技術の向上に努めてほしいと思います。それは、やはり日々のリフティング練習でボールをよく触ることで向上できるので今後を期待したいです。

3年生については、まだまだリフティング回数の記録ばかりで選ばれている子たちなので、ある程度基礎技術は4年生を上回るレベルではありますが、自分だけの感覚的なプレーが多く見られたため、フィジカルの弱く、今の個々の能力が通用しないこともあり、周りを使ったプレーができるようになるとプレーの幅が広がるため練習で求めていると思います。

良かったこと

試合に出たい気持ちを表してくれて、サッカーを好きである姿を感じられたこと。

コーチから任されたポジションを自分なりにやり切ってくれたこと。

毎回ですが、みんなから推薦されて主将を務めたカナタくんはオンザピッチやオフザピッチにおいてもリーダーシップをとってみんなを引っ張ってくれたこと。

天候にも恵まれて、二日間最高の天候で試合ができたこと。

川俣SSSさん、2日間の準備と運営をありがとうございました。また、来年もご招待をいただけたら幸いです。

保護者の方々には朝早くから子どもたちの送迎と二日間の応援をありがとうございました。





